

令和元年定例会 12月定期議会

総務企画常任委員会調査報告書

令和元年12月19日

総務企画常任委員会

総務企画常任委員会 活動状況

〔報告期間〕 令和元年 9月6日～12月5日

日時	活動区分	内 容	頁
9.6(金)	協 議	<ul style="list-style-type: none"> ■ 9月定期議会中における調査事項について ■ 新たな過疎対策法の制定に関する意見書について ■ 決算審査特別委員会における副委員長を選任について <p>〔参加者〕 日下委員長ほか委員7名</p>	—
9.11(水) 9:30～17:00	所管事務調査① (議案調査)	<p>《消防本部》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 損害賠償の額を定め和解することに関する専決処分の報告について ■ 令和元年度登米市一般会計補正予算（第3号） <p>《企画部》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 継続費精算報告について ■ 平成30年度登米市健全化判断比率の報告について ■ 平成30年度登米市資金不足比率の報告について ■ 公益財団法人登米文化振興財団の経営状況について ■ 令和元年度登米市一般会計補正予算（第3号） <p>《水道事業所》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年度登米市水道事業会計継続費精算報告について ■ 登米市水道事業給水条例の一部を改正する条例について ■ 令和元年度登米市水道事業会計補正予算（第1号） ■ 放棄した債権の報告について ■ 上下水道事業の組織統合について <p>《総務部》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 放棄した債権の報告について ■ 登米市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例に係る専決処分の報告について ■ 登米市市長等の給料の月額の特例に関する条例の制定について 	—

日時	活動区分	内 容	頁
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 登米市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について ■ 登米市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例について ■ 贈収賄事件について ■ 令和元年度登米市一般会計補正予算（第3号） ■ 令和元年度登米市土地取得特別会計補正予算（第1号） <p>[参加者] 日下委員長ほか委員7名 総務部 中津川部長ほか12名 企画部 佐藤部長ほか10名 消防本部 鈴木消防長ほか5名 水道事業所 大柳所長ほか9名</p>	—
9.17(火) 10:00~16:00	所管事務調査② (議案調査)	<p>《水道事業所》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年度登米市水道事業会計決算認定について ■ 保呂羽浄水場再構築事業について <p>《会計管理室》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年度登米市一般会計歳入歳出決算認定について <p>《企画部》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年度登米市一般会計歳入歳出決算認定について <p>[参加者] 日下委員長ほか委員7名 企画部 佐藤部長ほか13名 会計管理室 加藤会計管理者ほか4名 水道事業所 大柳所長ほか9名</p>	—
9.19(木) 10:00~16:00	所管事務調査③ (議案調査)	<p>《消防本部》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年度登米市一般会計歳入歳出決算認定について <p>《総務部》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 平成30年度登米市一般会計歳入歳出決算認定について 	—

日時	活動区分	内 容	頁
		<p>■ 平成30年度登米市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>■ 組織機構の改編について</p> <p>[参加者] 日下委員長ほか委員 7名 総 務 部 中津川部長ほか12名 消 防 本 部 鈴木消防長ほか5名</p>	—
9.28(土) 14:00~16:00	意見交換会	<p>■ 相手方：登米市納税貯蓄組合連合会南方支部 議 題 「登米市の財政について」</p> <p>[参加者] 日下委員長ほか委員 7名 登米市納税貯蓄組合連合会南方支部 及川圭介支部長ほか18名</p>	4
10. 9 (水) 12:00~18:30	所管事務調査④ (現地調査)	<p>■ 東北電力女川原子力発電所及び原子力PRセンター</p> <p>[参加者] 日下委員長ほか委員 7名</p>	6
10.18(金)	協 議	<p>■ 台風19号による被害状況の確認について</p> <p>■ 総務企画常任委員会の今後の対応について</p> <p>[参加者] 日下委員長ほか委員 7名</p>	—
10.23(水) 9:15~12:30	所管事務調査⑤ (現地調査)	<p>■ 台風19号による被害状況の現地確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大綱木浄水場(東和町) ・東和町米川地域 ・津山町柳津地域 	9

総務企画常任委員会 活動概要

【意見交換会】

1. 日 時：令和元年9月28日(土) 午後2時00分～午後4時00分
2. 場 所：登米市役所南方庁舎 2階 大会議室
3. 概 要：「登米市の財政について」をテーマとし、市が抱える問題とその解決に向けた取り組みについて意見交換を行った。
4. 参 加 者：委員長 日下 俊、副委員長 岩渕 正弘、
委 員 曾根 充敏、佐藤 千賀子、工藤 淳子、中澤 宏、
田口 政信、八木 しみ子

登米市納税貯蓄組合連合南方支部 支部長ほか18名

(南方総合支所) 支所長 千葉 清記
市民課長補佐兼地域振興係長 伊藤 正裕

(議会事務局) 次長 後藤 光彦

5. 所 見：(別紙のとおり)



総務企画常任委員会委員全員が出席した



会場が満席となるほど多くの組合員が参加した

○所 見

市納税組合南方支部の要望を受け、南方総合支所会議室を会場に意見交換会を開催した。会場が満席となるほど多数の参加者のもと、終始活発なご意見をいただいた。

登米市は人口減少にともない着実に財政も縮小することが予想されているが、こうした将来を見据え、現在の借入金や病院事業会計等への繰出金は適正なのかなど、市政の課題に心配と不安の声が多かった。

交付税が措置される借入金返済の仕組みを確認したり、病院事業の心配を共有したり、市の将来を語る貴重な機会となった。

今後とも市民との意見交換会の機会を大切に、市民と共に歩む委員会活動を強めていきたい。

【所管事務調査④】

1. 期 間：令和元年10月9日（水） 午後0時30分～午後6時30分

2. 場 所：宮城県牡鹿郡女川町

3. 事 件：

《現地視察》

（1）東北電力女川原子力PRセンター

（2）東北電力女川原子力発電所

4. 参 加 者：委員長 日下 俊、副委員長 岩淵 正弘、
委 員 曾根 充敏、佐藤 千賀子、工藤 淳子、中澤 宏、
田口 政信、八木 しみ子

（議会事務局）主事 高橋 秀人

5. 概 要：（別紙のとおり）

6. 所 見：（別紙のとおり）

○調査目的

再稼働に向け動いている女川原子力発電所の安全対策の現状について視察し、今後の原子力発電所のあり方について学ぶもの。

○調査概要

■女川原子力発電所の安全対策の現状について

女川原子力発電所は、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震発生後、1号機、2号機及び3号機すべてが自動停止し、「止める、冷やす、閉じ込める」が正常に機能した。

同じく地震発生後の電源の状況は、非常用ディーゼル発電機8台は全て健全に待機状態を保ち、さらに外部電源も1回線(275kV)が正常に確保されていた。

女川原子力発電所が、地震後、安全に停止できた主な要因として、①過去の津波災害の記録から、敷地高さを14.8mに設定していたこと、②港側に、各機器類を徐熱冷却するために必要となる海水をくみ上げるポンプ等重要機材を置いていなかったこと、③2010年までに6,600カ所(1号機約3,600カ所、2号機900カ所、3号機2,100カ所)もの耐震工事を実施していたこと、の3つが挙げられる。

地震を経験した後の安全対策としては、最大想定揺れの大きさを580から1,000ガルに引き上げ、それに耐えうるよう耐震工事を行っている。

また、防潮堤を海拔29メートルまで嵩上げし、鋼管式鉛直壁設計のものが680m、セメント改良土による堤防が120m、総延長800mに改良中であり、仮に浸水しても、施設の機能が失われないよう建物の入り口などの密閉化を行っている。

原子力発電所にとって、電源は安全を確保するうえで生命線と言える。そのため、設置済みの空冷式ディーゼル発電機に加え、ガスタービン発電機を配備し、電源供給の信頼性を高めている。

徐熱冷却に対しては、大容量送水ポンプ車を4台追加配備し、1万m³の淡水貯水槽を建設中であり、冷却機能の強化を図っている。

このほか、発電所敷地周辺の森林火災による、構内への延焼を防ぐため、周辺斜面の伐採及びモルタルの吹付工事を実施し、帯幅20m、帯延長3kmの

防火帯を設置しており、安全対策工事費3,400億円を投じ、あらゆる災害に対して対策がなされていた。



原子力PRセンターにて原子力発電の仕組みや施設概要の説明を受ける

※原子力発電所については、敷地内撮影禁止のため活動写真はなし

○所 見

女川原子力発電所2号機は、3,400億円を投じ再稼働目指していたが、実質的な合格が出された。今後、再稼働にあたっては、周辺市町村の合意が必要である。

また、本市においては、稼働、休止どちらにおいても避難準備を十分に検討しなくてはならないのではないか。

【所管事務調査⑤】

1. 日 時：令和元年 10 月 23 日(水) 午前 9 時 15 分～午後 1 時 00 分

2. 場 所：市内現地

3. 事 件：

《現地視察》

台風 19 号に伴う水道施設の被害状況の把握

- ・大綱木浄水場の基礎部分の土砂流出
- ・津山町横山地域の水管橋破断による漏水

4. 参 加 者：委員長 日下 俊、副委員長 岩淵 正弘、
委 員 曾根 充敏、佐藤 千賀子、工藤 淳子、田口 政信、
八木 しみ子

(水道事業所) 所長 大柳 晃、水道管理課長 細川 宏伸、
水道施設課長 小林 昭広、
水道施設課長補佐兼施設整備係長 鈴木 安宏

(議会事務局) 主事 高橋 秀人

5. 概 要：(別紙のとおり)

■台風 19 号に伴う水道施設の被害状況の把握

○調査目的

台風 19 号による本市の災害状況を収集・整理し、各常任委員会において現地調査を行い、現段階で取り組むべき事項をとりまとめ、市長へ要望書を提出するもの。

○水道施設の被害状況

施設又は場所	被災状況	応急措置内容	備考
大綱木浄水場	基礎部分の土砂が流出し、倒壊の恐れ	浄水処理を停止し、給水車による臨時給水措置を実施 基礎補修工事を実施	給水戸数 6 戸
米谷水系浄水場	フェンス破損	カラーコーン等による防護措置	
錦織水系浄水場	フェンス破損	カラーコーン等による防護措置	
本宮配水池	フェンス破損	カラーコーン等による防護措置	
西針田増圧ポンプ場	フェンス破損	カラーコーン等による防護措置	
東和町米川字南上沢地内	水管橋破断による漏水	仮設配管による給水	断水 3 戸
東和町米川字小山下地内	水管橋破断による漏水	仮設配管による給水	断水 4 戸
東和町米川字寺内地内	道路陥没による水道管破損のため漏水	仮設配管による給水	断水 51 戸
津山町柳津字大土地内	水管橋破断による漏水	仮設配管による給水	断水 3 戸
津山町横山字竹の沢地内	水管橋破断による漏水	仮設配管による給水	断水 4 戸

○調査概要

大綱木浄水場基礎部分の土砂流出や、水管橋破断などによる影響により、ピーク時で 65 戸断水が発生したが、仮設配管による給水によって応急措置を講じ、断水の解消を図った。

現地調査後、委員間討議を行い、総務企画常任委員会として、被害状況、市へ要望・提言する内容を整理した。

(委員間討議において、早急な市の対応が求められるとされたもの)

- ・被災住家等の洗浄作業に係る水道料金を減免する場合には、減免申請手続きについて、被災者の負担とならないよう簡素化に努めること。

- ・水道使用量の増加に伴う下水道使用料の取り扱いについても同様の支援策を講じること。

なお、常任委員会の調査内容及び要望・提言内容については、市議会災害対策連絡会議（10月28日開催）で報告。議会から市長へ要望書を提出することになり、11月1日熊谷市長へ要望書を提出した。

【総務企画常任委員会所管の要望事項】

- ・復旧作業にかかる水道料金の軽減について



職員から大綱木浄水場の被害状況の説明を受ける



東和町米川字寺内地内の被害状況



津山町柳津字大土地内の被害状況

